門司校区小地域福祉活動第二次計画

令和6年度~令和10年度

門司校区では、2019年から「小地域福祉活動第一次計画」を策定し5年間にわたり取り組んで参りましたが、2020年1月6日に新型コロナウイルスが日本に上陸したことにより、私たちの行動は制限され、この計画の実行委員の選定を行うことができない状態が続き、2023年5月8日に「5類」に引き下げられるまでのつらい3年4ヶ月でした。5年計画(60ヶ月)のうち40ヶ月、実に計画期間の3分の2が行動制限を受けていましたが、自治会役員や町内会長の皆さま、民生委員の協力を得て実行できた事業もありました。

第二次計画では、「災害対策」や「人口減少」、「防犯対策」等々、山積する問題を一歩でも前に進めたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

門司校区社会福祉協議会 会長 門井 豊

~小地域福祉第一次計画のふりかえり~

- (1)何ができたのか?
- ①住民アンケートの実施 「避難所遠い」との声多数



学校やお寺に声をかけ、避難所を 5ヶ所設定した。

公民館には災害対策用品倉庫も 設置した他、各所にはタオルや食 品も用意。

③公民館の老朽化対策 建築 60 年以上経つ。 老朽化が 進んでいたため、 5年かけて修 理・交換等を行った。



維持管理費の減少により、校区 民へエアコン使用料を無料化 した。

②高齢者への対策

- 無料健康相談を 2 ヶ月に 1 回実施
- 公民館内に休息できるスペースを設置(マッサージ機等)



健康相談で大動脈瘤発見し、命が助かった。

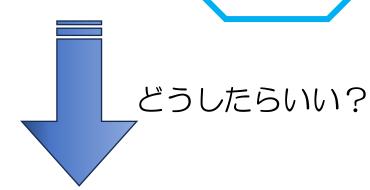
④町内清掃や空き家対策
バッテリー式の「電気のこぎり」「電気ドリル」「高圧洗浄」
「草刈り機」等を購入し、町内 清掃や空き家の枝切、空地の草 刈り等に貸し出しを開始した。

(2) できなかったことは?

「民生委員」「福祉協力員」 「社会福祉協議会」の間での 連絡調整会議の開催回数、 実施方法が不十分だった。

「互近助チーム」の編成、 町内会内の コミュニケーションが 確立できていない。

次世代の活動者を 育成することも 不十分である。



できなかったこと等の反省点から、 校区民全体のコミュニケーションを 作り上げることが 問題解決への近道ではないだろうか?





さくらんぼ作戦



どんな優秀な人でも町内全員の方とコミュニケーションを短期で作り上げるのには無理があります。

少し期間が必要になりますが、一番確実だと考えられている方法が「さくらんぼ作戦」です。さくらんぼは一つの花から二つの実が出来ることから1人の人が2人の人と確実なコミュニケーションを取り合い自分たちの立場と現実を理解し目的・行動(行うべきこと)を共有する状態になることが原点です。



メンバーは3人からスタート(1人は核の人)



共有した2人が、また2人の人に同じ様に共有すると メンバーは4人増えて、合計7人



新メンバー4人がそれぞれ2人に共有すると、8人増えて合計は15人に



これをもう一度行うと、16人増えて合計31人!

全ての方が二人の理解共有者を作るだけ

一人の町内会長さんや民生委員さんが何十人もの人に無理をして話を して回らなくてよいのです。その代わり二人のさくらんぼを育てるのに 全力を注入してください。

全てを理解してもらえなくとも、「水害が起きて避難指示がでたらどこに逃げようか?」そんな話を手掛かりに関係を深めていくこともできると思います。

大切なのはあなたの命、周りのみなさんの命。そして、お互いの見守り合いで孤独死をなくす。そのためあなたには、最初の桜の白い花になって大切な2つのさくらんぼを育てて欲しいのです。

- ①災害対策(台風・大雨・地震等)の避難所の確認
- (1) 共助するためのコミュニケーションつくり(自治会への理解)
- (2) 町内会長のリーダーシップと若返り対策

②防犯対策

- (1) 電話による犯罪対策(電話によるお金の話は全て詐欺)
- (2) 子どもに対する犯罪防止対策(こども 110番のいえ 200件を目標)

③交通事後防止

- (1)歩行者のルールを守る
- (2) 運転は "だろう" 運転はせず、確実に安全確認
- ④民生委員との情報共有を強化

町内会長会議に民生委員も参加しコミュニケーションつくりと情報収集に努める

⑤人口減少

- (1)他所での例を参考に対策を考える
- (2) 空き家の確認。地図上にて空き家をマーキングし、場所の把握

段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容		連携する機関	2024	2025	2026	2027	2028	参考
さくらんぼ作戦	災害対策(台風・大雨・地震等)の避難 所確認	自ま民老福学お治は協協のでは、一般では、一般では、自然をはいる。 はい						
	防犯対策							
	交通事故防止							
	民生委員との情報 共有を強化 (連絡調整会議等)							
	人口減少への歯止め							